



俺 0 0 0 1 1



book-fukunokami

## 海苔

---

「俺も海苔をごはんの上ののせて食うんだ」

俺は海苔とごはんを目の前にして一人で叫んだ。

「いや、やはり、海苔の上にごはんをのせて食うんだ」

俺は一人で叫んだ。

「海苔の上にごはんをのせて食うのかい？」

寿司屋の板前さんが現れた。

「はい、海苔の上にごはんを乗せて食います」

「どうせなら寿司にしないかい」

「えっ、寿司にするのですか？」

「酢飯にしよう」

「えっ、酢飯にするのですか？」

「巻いちゃおう」

「えっ、巻いちゃうのですか？」

「そうだ、巻くんだ」

「それじゃあ巻き寿司になります」

「いや寿司のネタが無いぞ」

「酢飯の海苔巻きですね」

そして俺と寿司屋の板前さんは酢飯の海苔巻きを食った。